ふかまちのまど

第一八九号　一〇年二月一日
発行元　深町町内会連合会
連絡先　☎六三一三八八二

町内会連合会活動報告

役員会開催（一月二四日）

町内会連合会会長　中村純

主な議題は次の通りです。

◆防犯灯の費用負担について（市民生活課より説明）

○防犯灯の管理区分の整理

①国道・県道・幹線市道に設置したものは、道路照明として市が管理する。

②集落と集落の間に設置したものは、道路照明として市が管理する。

③集落内に設置したものは、地元が維持する。

○費用負担

①管理・螢光管・グロー管等の取替は市が行う。

②維持・集落内に設置された防犯灯の電気料金のみ地元が負担する。

○実施時期　平成二二年四月一日

◆町内一斉川掃除について

①日時　二月二十一日（日）午前八時三十分～

※雨天　二月二八日に変更

②服装　作業できる服装で

③道具　（長靴・手袋など）草刈機・手鎌・鋸など

▲▲

第五回三原市民ビーチボールバレー大会出場

ビーチボールバレー担当　勝岡　茂樹

一月十七日（日）、三原リージョンプラザにおいて、三原市二十地区九五チームの参加で開催されました。

深町地区は、土曜日四回の練習でチームワークを作りをし、全六種目に参加しました。

ゼッケン番号二試合目に四チームが重なり、あっちこっちでの準備合へフル回転。声援を送り続けた結果、小学生男子は、フルセットの末、鷺地区を撃破。三位を賭けて、糸崎、木原連合地区と対戦しましたが、一試合目で敗退しました。

他のチームも善戦しましたが、健闘むなしく敗れました。その事終了後、無多数の応援、お手伝いありがとうございました。選手及び役員の皆さん、大変お疲れさまでした。来年また頑張りましょう‼

▲▲

深町子どもを守る会

子どもをみんなで守りましょう

深小の子どもは

○午後四時頃　下校します。

※日によって、異なることがあります。

○近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。

○あいさつ、声かけをしましょう。

歩く会にご参加を

健康づくり推進員　高崎修

御調ダム周遊

月日　二月十八日（木）

行程

八時　上組公民館出発（車）

九時　ダム駐車場から周遊出発（徒歩）

十一時　ダム周遊終了帰途（車）

十二時　上組帰着予定

▲▲

「ふかまちのまど」　ホームページのアドレスは
http：//www. jcat. ne. jp /~fuka/top. html

深小だより

協働と革新

深小学校長　山本　惠司

人間は、誰も一人では生きることはできません。人間は生き社会的動物として、人と共に生きるということが根本となる倫理であり、「個人の尊重」という言葉は、民主主義社会の根本精神に神に尽きるといわれています。日々そのたゐめに努力することが肝要だと思います。

そして、人と仲良く協力し、実生活の向上を図ることや自己実現に努めることが、社会生活の基調となります。

「同じ協調」とは、仲良く協力しなせず」とは活動を付和雷同することがないこと。

人間は、一人孤立していては、自分の長所もまた短所についても知ることが難しいものです。したがって、より多くの人と協力し協調することや活動の中で自分を見つめることや積極的に自分を試してみることに努めることによって、自分自身を知ることが自分の個性的能力を伸ばすことができ可能になるのではないかと思います。

つまり、学級の中の一員である児童ひとりひとりも、学校の組織の中の一員である教職員ひとりにも共通して言えることなのです。

二月に入り、年度末も近づいてまいりました。各学年仕上げの学期として、我々教職員【協働と革新】を念頭に頑張ります。

▲▲

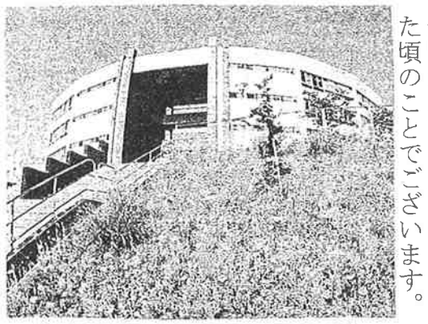
新春のご挨拶

如水館中学高等学校
校長　髙橋　秀幸

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

『如水館』が開校し、深町に校舎を移したのは平成六年、猛暑厳しき夏のことでした。そして十六年目の新春をここ深町で地域の皆様とご一緒に迎えることができました。この間、深町の皆様にはひとかたならぬご支援とご厚情をいただいておりますこと、衷心より厚く御礼申し上げます。

人の縁とはまったく人知の及ぶものではないようで、私事ではございますが、私がこの深町の地を初めて訪れたのは『如水館』が産声を上げようとしていた頃のことでございます。



如水館中学高等学校

新校舎の設計監修を授かり、候補地を求め歩き、緑の懐に抱かれた深の山中に立った日のことがまるで昨日のことのように思い起こされます。平成五年、この地に建設中の新校舎を見ながら、大林監督にお願いしてできたのが、校名も地名も入っていない新しい校歌でした。その校歌が初めて甲子園に流されたおりには、私はこの学校に在職しておりませんでしたが、まだ校舎のなかった深の山の草の匂いをひとり思い出しておりました。その私が本年度（昨年四月）より校長に就くこととなり、生徒とともに甲子園でこの校歌を歌うことができました。

振り返れば、私自身も「水のごとくなくてはならない人になれ」の建学の精神に吸い寄せられるかのように、この地を訪れたように思えてなりません。私のみならず、『如水館』に集まった生徒、教職員、同窓生、保護者や地域の皆様も同じように、それぞれの縁によって結ばれているものと考えております。これからも、ここ深町で「水のごとくなくてはならない人になれ」の建学の精神を具現し続けるよう努めてまいります。何卒ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

文末になりましたが、新年が深町の皆様にとりまして幸多き年となりますよう心よりお祈りいたしながら新春のご挨拶をお納めいたします。

▲▲

深町各種団体二月行事予定

◆町内会連合会
▼町内一斉川掃除　二一日

◆小学校・幼稚園
▼冬期学園・保健指導㊏　四日
▼冬期学園・まめまき㊏　三日
▼体重測定㊏　五日
▼諸費集金㊏　九日
▼六年租税教室　十五日
▼入学説明会　十六日
▼お店ごっこ
▼児童会役員選挙・一日入園㊏・新入児保護者会㊏・ぴよぴよハウス㊏　十七日
▼持久走大会　十九日
▼誕生会㊏　二二日
▼クラブ活動　二四日
▼参観日　二五日
▼テーマタイム後援会総会懇談会お別れ会㊏　二六日

◆如水館中学・高校
▼中学校第二回入試　七日
▼中高マラソン大会　十日
▼面接週間　十五～十九日
▼高校送別会　二八日

中組町内会新規入会者紹介

越智　和義　様　（千川講）

展望席

三原に春を呼ぶ三原の神明さん、四〇〇年以上の伝統を持ち、三日間で三十万人もの人出で賑わうという人気のある祭りです。かつては、この神明さんの時期には三原赤十字病院前の広場にサーカスが毎年やってきました。これが神明さんの大きな目玉であったかと思いますが、今は特に大きな目玉となるようなものはなく、植木市やダルマ市の他は、たい焼き、たこ焼きを中心とした露天商が軒を連ねていて、特別珍しいものはないように思います。

しかし、寒風も雪も不景気もインフルエンザもなんのその、沢山の人で賑わい、神明さんと聞いただけで何故か心がワクワク、ドキドキして元気がでるようです。この祭りには、冬の間、寒さにじっと耐えて貯めていた大きなエネルギーがどこからか一気に湧いてくるのでしょうか。ともかく、神明さんのエネルギーとワクワク、ドキドキした気持ちが大事かと思います。

元気で長生き研究所長のN医師によると、「人間は若々しく健康に生きるには、ワクワク、ドキドキする感動が大事です。認知症の最初の症状は物忘れではなく感動をなくすることです。いくつになってもワクワク、ドキドキと心をときめく体験をしましょう。でも、しょっちゅうドキドキしていると、心臓に悪いですから、ときどきドキドキでいきましょう。」とのことです。神明さんとともに、どこからか聞こえてくる春の足音に感動しながら心ときめく春を迎えたいと思います。

パキスタン・カラチに暮らす

最終回「カラチに暮らすということ」

中組　福島　健作（尾道市立因北小教諭）

先日、映画「沈まぬ太陽」（山崎豊子原作）を観に行きました。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、渡辺謙扮する主人公が初めに左遷される場所がパキスタン・カラチなのです。

実は、私達がカラチ赴任中に、小説が映画化される噂を聞きました。残念ながら、撮影はインドで行われたようで、エキストラでの出演という夢は叶いませんでした。しかし、映画の中の人々や街の様子がそっくりで、カラチで暮らした三年間を思い出しました。

初めて降り立ったカラチ国際空港で、四月上旬にして三十度以上の熱気とカレーの様な香辛料の香りが待っていました。肌の色も言葉も違う人々の中で、自分たちが外国人なんだと自覚した瞬間でした。

待ち受けていた生活は、大変でした。カラチには「安全・水・電気」が無いのです。

一年目、入居した家に外部から投石が続き、毎晩警察に警備してもらう事件がありました。投石は日に日にひどくなり、引っ越ししました。

カラチの街は、例えば家の目の前でも自由に歩くことができません。各家庭や学校では門に二十四時間体制で銃を持ったガードマンを雇います。安全を確保するためには、テロやストライキなどの危険情報を集め、万全の体制を自ら備えなければならないのです。

水や電気のライフラインも同じく、渇水や停電が常であるカラチでは、備えることが生活するための最低条件なのです。

しかし、厳しい生活の中でもパキスタン・カラチの文化や歴史は魅力的でした。

ガンダーラの仏頭

多くの日本人会や、現地のカラチの方々に助けられ、生活に慣れた二、三年目は、日本人学校のこども達を連れ、カラチの街を探索しました。（勿論銃を持ったガードマンも一緒です）。パキスタン北部のガンダーラ地方で、仏像の原型とであった時には、感動を覚えました。インダス文明の懐は深く広いのです。

私が一年間でご紹介できたパキスタン・カラチの魅力はごく一部です。このような機会を頂き、感謝しております。

最後にウルドゥー語（パキスタンの言葉）でお別れします。

ボホット　ボホット　シュークリア

（本当に、ありがとうございました。）

（完）▲▲

鈴木三重吉賞

佳作（作文の部）

岸　鈴歩　さん

高橋　茉里花さん

第六二回鈴木三重吉賞（中国新聞社主催）に深小六年生の岸鈴歩さんと高橋茉里花さんの作文が入選しました。作文の部は応募総数二二五八点で、特選七点、優秀賞二一点、佳作一七七点でした。お二人の入選を称え、その作文を掲載します。

（編集室）

大成功

深小六年　岸　鈴歩

「絶対ここ開けちゃだめよ。」

私の部屋のドアを閉めました。

お母さんは、

「何で〜、教えてくれたら開けんけえ。」

と言いました。実は、今二人の結婚記念日のプレゼントを作っていました。でも、母さんには嘘をつきました。今までは、プレゼントを作るときでも、何をする時でもお母さんに相談したのですが、今回はないしよです。こんなことをするのは初めてです。母さんを驚かせたかったので、心は痛みましたが、嘘をつきました。

プレゼントは、画用紙に「おめでとう」「結婚記念日。」と書き、家族全員の絵も描きました。下の方には、布で作ったハートを貼りました。ハートは、二枚の布を形に切って縫い合わせ、二つ作りました。キーホルダーでも使えるようにひもも付けました。

作っているときから、母さんが喜んでくれた顔を思いうかべては、一人でにこにこしていました。いったいどんな顔をしてくれるだろう？きっとびっくりするだろうなあ。と想像すると、早く渡したくなって、ウキウキしてきました。私は、ないしよでプレゼントを用意したことは初めてです。だから、こんな気持ちになったのも初めてです。ですから、渡すときの演出も忘れません。絶対に成功させたいからです。記念日がもうすぐというときには、今気がついたかのような、演技もしました。二人ともまんまとだまされました。

いよいよ記念日当日、お父さんは出張でいませんでした。二人そろった時に、とも思いましたが、我慢できずにお母さんに渡しました。

「ジャー〜ン。結婚記念日おめでと〜！」

すると母さんは、

「え〜、ありがとう。すごいじゃん。これ作りよったん。」

と、喜んでくれました。この時母さんの目が涙でうるんでいるのが分かりました。私に、

「見ちゃだめよ。」

と言われたとき、母さんは私[illegible]

私の結婚記念日のプレゼント作戦は、大成功。▲▲

信じて演技

深小六年　高橋　茉里花

最近、気分がぱ〜っと晴れたことは、運動会の組体操の練習で、三人が成功したことです。ねねちゃんと桃子ちゃん、私の三人組は、どの演技もできませんでした。上に乗る桃子ちゃんが、いやだ、と言うのを引き戻し、飛行機をしてみましたが、結局崩れておちてしまいました。それから桃子ちゃんは、怖くなってしまったのか、

「いやだ、やりたくない。」

を繰り返し、尻込みしました。

練習のたびに弱音をはいては、やる気をなくしているように見えました。土台を受け持つ私は、ここであきらめたらいけない。本番までには絶対に完成させて、三人が達成感を味わいたいと思いました。そこで、ねねちゃんと私は、

「桃子ならできるよ。ファイト。」

「私たち土台がしっかり支えるから、信じて。」

と、励まし、支え方も工夫しました。しばらくして桃子ちゃんから、

「じゃあ、やってみる。」

と言ってくれました。私たちは「やったあ」と、ハイタッチしました。あまり根拠のない説得なのに、桃子ちゃんがこわごわとでも、挑戦してくれたので、こちらの気合いも一段と入りました。絶対に落とさない、支えるよ、という気持ちで飛行機の体勢を作りました。その上に、桃子ちゃんが心を決めて乗ってくれました。少し震えていたかも知れません。ちょっと前までの、「落とすなよ。」などと、強気なこわがりはありません。それを声に出さずにじっと我慢しているのを感じ、わたしたちは、さらに踏ん張りました。でも、三人ともブルブル震えていて、不安定でしたが、完成、なんとか成功です。今までの緊張がほぐれ、達成感と喜びでいっぱいでした。

はずみがついて、今まで出来なかった演技にどんどんチャレンジしていきました。こうなると、三人の息はぴったりです。もう、桃子ちゃんがいやだ、なんて言うことはありません。桃子ちゃんの信頼に応えることができたのでしょう。次々に演技が成功することができました。

運動会当日は、三人で堂々と演技することができました。どれも、練習の成果が発揮できた、とてもいい気持ちになりました。

三人の心が通じ合い、お互いを信じて支え合うことで、一つのことをやり遂げる大切さを、運動会の練習から学びました。

ちょっと無理かも知れない、と思うことも、あきらめず協力し合うことで、成功することがあるということを、実感しました。ねねちゃん、桃子ちゃんありがとう。▲▲

短歌・俳句・詩

中組　仲峠講　竹内ひろみつ

元旦にわが家の係累集まりて
鍋つつきつつ昔語り合う

一年の終わりの週の全国版
特選に載りしわが短歌（うた）嬉し

三億の夢を持たせて宝くじ
砂に書きたる絵のごと崩れ▲▲

ピッコロだより（知的障害者授産施設）

春物野菜、花の準備も着々

二月、節分、一日一日と春の訪れを感じられるこの頃ですが、皆様はいかがお過ごしですか。寒さの為、年内に植えた苗もあまり大きくならず、じっと耐えています。その姿は、けなげでいとおしいと思います。「時を待つ」[illegible]春を楽しみに待つのは人間だけではなく、植物も[illegible]

ハウスの中は春物の野菜、花の準備も着々とすすめられています。キャベツ・ブロッコリー・白菜・レタス等。（二月中旬頃）花苗はミムラス・カリブラコ等です。苗が大きくなる頃、足を運んでみて下さい。利用者も力を合わせて頑張っています。▲▲